

# 陶芸家の美意識を感じる空間 うぶすなの郷TOMIMOTO

## うぶすなの郷TOMIMOTO

奈良県生駒郡安堵町大字東安堵1442

TEL.0743-56-3855

【定休日】火曜日

【食事のみ】11:00～/13:00～(2部制・完全予約制)/17:00～(完全予約制)

【宿泊チェックイン】15:00【チェックアウト】10:00

【宿泊】50,000円(税・サ別)～/1名

※1泊2食付・2名1室の参考価格

※客室は2室(2～8名)

<https://and-tomimoto.jp/>

### 自然美を作品に取り込んだ 富本憲吉の原点である生家

細い路地を抜けると趣のある門が現れる。屋敷の周囲に濠が巡らされたこの地域特有の環濠屋敷で、濠には気持ちよさそうに金魚が泳ぐ。江戸時代のもものという門をくぐると、空に向かって真つすぐにのびる竹林、枝葉を広げた大きな楠が出迎えてくれる。ここは、陶芸家、富本憲吉の生家。富本の作品に描かれた井戸とザクロの木や、代表的な四弁花模様のモチーフとなったテイ

カズラも見ることが出来る。二〇一二年までは富本憲吉記念館として使われていたものを、レストランや工房を備えた宿へと改装された。人間国宝第一号でもある富本の美意識を育んだ空間は、訪れる人の心をほぐし、静かで豊かな時を演出してくれる。

### 富本を感じるモチーフが 随所にちりばめられた客室

約600坪もある広い敷地で、宿泊できるのは一日二組。一つ目の客室は、

親友の医学者である今村荒男と「日本を新たに」との思いを込めて合作した書画「日新」に因んで名付けられた。富本が晩年を過ごしたという和室の目の前には美しい日本庭園が広がり、襖には富本直筆の「エビヅル」のデッサンが貼られた贅沢な空間。自然の草花を生して新たな模様を創作した富本は、この部屋でも物思いに耽ったに違いない。モダンなツインベッドルームと奈良県産の杉が清々しい香りを放つ風呂が備わった使いやすく居心地のいいゲストルームになっている。



富本の四弁花模様の元になったテイカカズラが巻き付く楠。



富本と縁のある長野県産の家具が置かれたリビング。



富本の作品には、井戸とザクロが描かれた作品も。



日新の襖に貼られたエビヅルのデッサン。



大長管の「五風十雨」の書かゆい。



もう一つは富本の代表的な模様の「竹林月夜」から名付けられ、大正時代に移築された蔵をリノベーションしたメゾネットタイプ。ツインベッド、セミダブルベッド、和室があり、8名まで宿泊ができる。英国の陶芸家バーナード・リーチとの交流から陶芸の道を進んだ富本を意識して考えられたリビングには、富本と縁の深い長野県産のレトロモダンの家具が配され、ゲストルームのあちこちに富本を感じるモチーフが

散りばめられた格調高い雰囲気を感じやすい。テラスには、うぶすなの輝く月夜を楽しんでほしいとテーブルと椅子が置かれ、かつて富本とリーチが眺めたであろう竹林が目の前に。

### 五感を刺激する食と ここにしかない優雅な時間

大人旅に欠かせないのが、美食。大正時代に建てられた上品な建物にあるレ

ストラ「五風十雨」では、出汁を効かせ、素材の旨みを最大限に引き出した会席料理がいただける。料理長自ら直売所をまわり厳選した旬の地場野菜をはじめ希少なまほろば赤牛、近隣から届く天然魚が美しく仕立てられ、五感を刺激する。合わせるには奈良の地酒をおすすめ。緩やかに流れる至福のひとときは、非日常を感じずにはいられない。

地内にある工房では絵付けや陶芸(要予約)の体験ができ、この宿ならではの過ごし方を楽しむことができる。草花からインスピレーションを受け、作品を生み出した富本のように庭の木々や草花の音が聞こえるかもしれない。「樹を楽しむ陶器を見るに似たり」との富本の言葉が刻まれた石碑が庭にあるが、陶芸家の原点を感じながら過ごす贅沢を味わってほしい。